

4 江秘第 2 1 2 6 号
令和 4 年 8 月 1 9 日

江南市議会
議長 堀 元 様

江南市長 澤田 和延

江南市議会議員から市職員に対する パワー・ハラスメント等の防止に関する申入書

令和 3 年 1 2 月 2 8 日付け 3 江秘第 1 3 7 号にて、江南市議会議員からのパワハラ等に関する職員アンケート調査結果を踏まえ、江南市議会議長あてに、「市議会議員からパワハラ又はパワハラの疑いのある行為を受けたと感じている職員、あるいはそうした行為を見たり、相談を受けたことがあると回答している職員がいるため、議会において配慮していただくよう求めます。」と要望いたしました。

その後の状況の把握を含め、事実をより正確に把握するため、本年 7 月、市職員に対して記名式によりアンケート調査を再度実施しました。その結果は、別添資料のとおりですが、今年度においても、市議会議員からパワハラ又はパワハラの疑いのある行為を受けた、あるいはそうした行為を見たり、相談を受けたことがあるとの回答がありました。

特に、令和 4 年 6 月定例会厚生文教委員会における付託議案に係る審査において、一部の市議会議員の言動は、大声による威圧的な発言、罵声、怒声などと受け止められ、精神的ストレスを感じた市職員が出ている状況でありました。

こうした言動は、市議会と市との信頼関係を損なうばかりでなく、江南市議会基本条例及び江南市議会議員政治倫理条例に規定されている政治倫理基準に違反するおそれがあると考えられます。

市職員は、市民が安心して生活できるよう行政サービスを提供する上で大切な市の財産です。市職員が職務に対するモチベーションを保ち、精神的にも安心して働けるような職場環境とするため、このアンケート結果を市議会として重く受け止め、改めて各議員に対し、適切に対応していただくよう徹底されることを申し入れます。